

平成19(2007)年5月30日(水)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama-clinic.jp

前号の続き： 世界各国の事情を知ることの一端となれば幸いとトルコへ行く道中の4月9日、8時間ほど見て回ったドバイのことについて記してみます。

ドバイのこと 総務 松井 正

「暮らしの手帖」(27号 本年4・5月号)の「時間は残っているか」という毎日新聞論説委員長 潮田道夫氏のエッセイの中でドバイ(アラブ首長国連邦の一)へ行ってきた友人がたまげて、「上海がすごいなんていうが、そんなもんじゃないね」と言ったというくだりがある。

友人が言うには、高層ビルの林立、分けても“ドバイタワー”、08年の完成予定の160階建て、高さ700mの総合ビルは目下世界の台北の101ビルの高さ508mをはるかに追いつく。見学した建築中のリゾート地の高級マンション、80平方mで5億円が即完売だった。

そんな文を読んだ後に私もドバイに行ったものだから、私もたまげた、想像を絶した、と言えます。まず、私の乗った航空会社はエミレーツ航空、ドバイ政府が85年に設立。日本ではまだ知名度は低いが、急速な勢いで世界にネットワークを広げている。ヨーロッパでは常にNo.1の人気。値段の安さと旅客サービスの良さが定評なのですが、ほかに保有機材の良さも抜群だそうです。安心、安全がウリ。客室乗務員も80ヶ国を有しているということで勿論、私たちの乗った機内にも日本人が1、2人いました。

加えて、エミレーツ航空は国際サッカー界では特別な存在だそうで、英国のマンチェスターユナイテッドやチェルシーらのスポンサーでもあり、ロンドン北部のサッカー用エミレーツスタジアムも作り、06年のFIFAワールドカップ、ドイツ大会のオフィシャルパートナーともなっています。その他、競馬界、ゴルフ、テニス、ラグビーにも多額の協賛金を出しているそうです。知らなかったのは私だけかも知れません。

アラビア湾側海浜にはザ・パームと呼ぶ直径6kmの世界最大の人口島、〔但し、べた地ではなく、パーム(椰子)の幹と葉っぱを思わせる形〕を二つも作り、先述したリゾート地としています。ベッカムもこの別荘を買ったそうです。

ドバイはつい50年も前は貧しい漁業の地、一面砂漠の埼玉県ほどの面積の地が変貌したのです。アラブ首長国連邦(UAE)とは7つの国の元首が

手を取り合った国です。併せて広さはただの北海道ほど、しかし、地面の底から石油が沸く。先のエミレーツ航空にしても自分地の井戸水で飛行機を飛ばしている感じ。安く、サービス満点なのは当然。石油はこれから発展する何億の人口の中国、インドがいくらでも欲しい。石油で動いている世界、大金持ちの産油国たちが今後世界にどんな影響を与えるか。想像が付きません。

娘の洋服生地選び 看護師 堀口 洋子

2～3日前、娘のブラウスを作りました。大好きな水色の花柄で、最近流行の短めのフワとしたブラウスです。去年はピアノの発表会に白いドレスを作りました。バラの花を作ってつけてみたり、リボンやフリルを作ってみたり、こうしたら似合うかな、かわいいかなと想像しながら、作るのはとても楽しくて他のことは忘れてしまいます。また、布を選ぶのもとても楽しい作業です。布を手にしてはこれはシルエットがきれいに出来るからフレアスカートがいいかな、とか、柄がはっきりしているから夏のワンピースに可愛いなとか考えながら見て回っていると1～2時間経つのはあっという間です。おかげで家の衣装ケースには、今まで、いつか作ろうと思っただ布でぎっしりです。

最近では手軽で簡単に作れる綿素材の夏服を作ることが多いのですが、それでも娘は喜んで着てくれるので、次はどんなのを作ろうかとムクムクと創作意欲がわいてきて楽しくなります。

娘もだんだん身体も大きくなってきて大人っぽいものを好んだり、要求も色々出てきています。いつまで、私の作った服を着てくれるのかな、喜んでくれるのかな、と思うこのごろです。

… … … … …

〈あ と が き〉

当院、ミニギャラリーはこの4月から小浜中の出原さん、雲浜小の畠中、横浜、高橋さんの書です。素朴な味わいがほのぼの伝わってきます。

左写真 ドバイの海浜に浮かぶホテル。1泊最低25万円。上沼恵美子が泊まった時、案内したガイドが言っていた。本当におとなしい、口数少ない人で、旦那に従順でした。

